

疫病対策の比喩と表現

——レアリアによる中国語教育の一環として(4)——

石崎博志

要旨 本稿は、Covid-19に関連する中国語表現について分析したものである。コーパスとしたのは中国における動画プラットフォーム《二更》における連作短編動画《疫战 传递温暖人心的力量》の一連の動画《那个被感染了急诊女护士》と国務院がCovid-19（新型コロナウイルス）の疫病対策を総括した白書《抗击新冠肺炎疫情的中国行动》で、これらのCovid-19に関する中国語の比喩表現を抽出し、その概念メタファーを分析した。その結果、〈伝染病は戦争〉〈治療は戦い〉〈ウイルスは敵〉という概念メタファーで表現されていることを論じた。また中国でCovid-19の感染防止を呼びかけた告知文“温馨提示”をとりあげ、そのプロソディの特徴について論じた。その結果、中国には様々な形式の告知文が存在するなかで、Covid-19の告知文は3音節、4音節、そして4音節+3音節からなる7音節からなるリズムが整えられていることを指摘した。

キーワード 書面語 短編動画 新型コロナウイルス 概念メタファー 告知文

抗击疫情的语言策略

——隐喻及温馨提示——

摘要 比喩は認知語義学范畴所关注的核心課題之一。新型冠状病毒肺炎是近百年來人類遭遇的影響範圍最廣的全球性大流行病，本文借助現代漢語的口語和書面語語料，即“二更”發布的視頻節目《疫战 传递温暖人心的力量：那个被感染了急诊科女护士》，和國務院新聞辦公室發布的《抗击新冠肺炎疫情的中国行动》白皮書，對關於新冠肺炎的比喩辭格的使⽤特征進行考察。結

果显示，其口语和书面语均使用“抗击疫情是战争”、“治疗是战斗”、“病毒是敌人”等隐喻形式。本文还通过分析有关新冠疫情的“温馨提示”，阐述其音律特征。结果显示，在“温馨提示”的用语中，多采用三字、四字以及七字（四／三组合）的音律为主要表现形式。

关键词 书面语 视频 新型冠状病毒 概念比喻 温馨提示

はじめに

ネットの普及にともない中国語の学習環境も劇的に変化している。とりわけ動画配信サービスによって多くのオンラインビデオが無料で随時視聴できるようになったことは大きな変化と言えよう¹⁾。英語教育においては、つとにTED Talks²⁾をはじめとするプレゼンテーション・ビデオの語学教育への利用が行われており、学習者にとって肯定的にとらえられているという報告もある³⁾。また文部科学省（2016）においては、外国語教育におけるICT活用が推進されており⁴⁾、これは小中高等学校の外国語教育を対象としたものであるが、初修外国語という点では大学での外国語教育にも通じる提言がなされている。一方、中国語教育においても動画を使った事例がこれまでに紹介されているが⁵⁾、本稿においては、中国の短編動画コンテンツを使った

1) 映像を使った教育に関してはかなり以前より行われていたが、その多くは映画やドラマ、ドキュメンタリーなど比較的長い尺の作品が用いられてきた。そうした作品のなかには、台詞が適度に端折られているものもあり、文語的表現に改められていたりするなど、発話と字幕が対応していないものも多い。また作品中に話の流れが途切れない場合などは、区切ることが難しい場合もあり、講義担当者にとってそうした教材を授業で利用するにはかなり労力がかかるという難点があった。

2) TED Talks は、教育、ビジネス、科学、テクノロジー、創造性などに関する専門家の講演者によるビデオで、複数の言語による字幕が付されたものがある。

3) 田淵・湯舟（2017）、中釜・市川・保科（2015）などが挙げられる。

4) 文部科学省（2016）参照。

5) 清原文代（2015）、紅粉芳恵（2015）、植村麻紀子（2018）、許挺傑（2019）などを参照。これらは本稿で扱ったものに比べ、比較的長い作品を対象としている。

授業の事例を紹介したい⁶⁾。素材としたのは、2019年から世界中で猖獗を極めている新型コロナウイルス（Covid-19、SARS-CoV-2、“新型コロナウイルス”）にかかわる動画である。この疾病は日本や中国のみならず、世界的に共通した表現を短期間で広げ、類似した経験による共通の話題を提供した意味でも希有なできごとといえよう。またここで常用された語彙や表現は、別の疾病にかかった時、どのように症状を伝えるかという意味でも有用なものと思われる。本稿はまず基礎資料としたレアリアの説明として、中国の動画配信プラットフォーム“二更”と一連の動画《疫战 传递温暖人心的力量》の内容に関して説明をする。そして、このシリーズ動画から抽出した新型コロナウイルスに関する語彙や表現と中国が公的に発表したコロナウイルス関連の白書から、疫病対策に関わる比喩表現について論じる。

さらに Covid-19に関連し、中国語の感染防止を呼びかけた告知文（“溫馨提示” Wēnxīn tíshì、以下「告知文」と略称）についてその特徴を論じる。この中国の告知文とは、公的・私的を問わず、不特定の人に向けての「告知」、「案内」を指し、内容によっては「注意」や「依頼（お願い）」なども含む。中国の「告知文」には、スローガンのような短いものから、公文書の体裁をとった比較的長いものもある。本稿では、告知文のリズムや中国語のプロソディ、そして告知文の文語的表現を学ぶための教材とする。

本稿で敢えて Covid-19関連の告知文を扱うのは、中国に渡航する留学生や社会人にとって、中国の告知の内容を理解することは中国生活に付随するトラブルや感染を回避するうえで不可欠な事柄となっているからである。また、日中における共通のできごとに対する異なる対応や解決策を知ることが、中国の社会や文化に対する理解につながると考えられる。

6) 本授業は、そもそも佛教大学における中国留学プログラム「中国語現地研修A」「同B」の事前研修において講義するために準備したものである（Covid-19の影響で留学は中止されたため、事前研修も中止となった）。そして、2020年度秋学期の「中国語表現法演習」において本動画を扱った講義を実施した。

1. 基礎資料

1.1 “二更”について

“二更”は、中華人民共和国におけるオリジナル動画配信のプラットフォームであり⁷⁾、2014年11月に誕生した。“二更”の名称は毎晩“二更”の時間帯(午後9時または午後10時から2時間)に放映されたことにちなむ。2015年4月より、杭州二更網絡科技有限公司により商標登録され、動画の全ての著作権は当該企業が所有している。その動画は、“微信”“微博”“今日头条”“秒拍”“美拍”“网易”“凤凰”“腾讯”“优酷”といった中国の主要なネットサービスに配信されるだけでなく、YouTubeにおいても一部の動画が配信されている⁸⁾。動画一本につき2分から7分の長さであるが、その内容はドキュメンタリー、インタビュー、アニメ、広告、公益広告、ファッションなど多岐にわたる。中国人の生の声からその多様性を知るうえで有益な動画も多い。このプラットフォームに掲載されている動画の特徴は、流行語やネット用語、また方言もかなり使われていることである。それらは規範に合わせて変更していないものがほとんどで、中国語の字幕は実際の音声に忠実に書き起こされている。こうした中国語の字幕は、中国語学習者にとって強力な学習支援となると考えられる。

1.2 《疫战 传递温暖人心的力量》について

素材としたレアリアは《疫战 传递温暖人心的力量》と題した短編動画シリーズ《那个被感染了急诊科女护士》である。主な登場人物は夫の海棠(蔡開海)、妻の李婷で、武漢の救急科の看護師が新型コロナウイルス性肺炎に罹患し、映像カメラマンである夫・海棠が妻を自宅で隔離して看病、入院、隔離、退院、帰宅の一連の様子などを描いた作品である。このシ

7) 二更 <https://www.ergengtv.com/>

8) 二更で公開されている動画のほとんどがYouTubeでも視聴できる。本研究においては動画の設置場所としてYouTubeのアドレスを指定する。

リーズ動画を選んだ理由は1話の尺が2分から長くても10分にも満たないため、授業のなかで1話の内容を途中で区切ることなく紹介できることや、Covid-19に関連する用語がほぼ網羅されている点にある。また、武漢が封鎖され、武漢で住む人々の生活やロック・ダウン中の街の様子などが垣間見られることがある。

ここでこの動画をより理解するために当時の動きを時系列に整理するが、中国での動きを(中)、日本でのできごとを(日)としている。

2019年

12月12日：(中) 武漢でコロナウイルスによる肺炎患者の確認⁹⁾

2020年

1月5日：WHOが「中国における原因不明肺炎について」(世界保健機関(WHO) Disease Outbreak News)を報告¹⁰⁾

1月16日：(日) 厚生労働省が日本国内初の感染者の存在を発表

1月23日：(中) 武漢市封鎖

1月26日：(中) 李婷に新型コロナウイルス感染の確定診断が下される。

2月3日：(日) クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に到着

3月10日：(中) 習近平国家主席武漢視察

3月15日：(中) 李婷が退院(のち隔離生活)

3月25日：(中) 武漢市以外の封鎖解除

4月8日：(中) 武漢封鎖解除

4月7日：(日) 緊急事態宣言(対象は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、及び福岡県)

4月16日：(日) 緊急事態宣言(対象は全国)

9) 日付は Zhou et al. (2020) による。当時は原因不明とされる。

10) WHO Disease Outbreak News <https://www.who.int/csr/don/05-january-2020-pneumonia-of-unknown-cause-china/en/> 閲覧日2020年7月31日

6月7日：(中) 国務院が《抗击新冠肺炎疫情的中国行动》を発表

この動画を閲覧するにあたって注意すべき点がある。それはこの動画が撮影された時期が2020年1月～4月であり、Covid-19そのものの性質やその感染防止対策、およびウイルスが引き起こす疾患や後遺症など当時において解明されていないことも多くあったことである。この動画で展開されている感染対策や治療の様子は当時の一例にすぎず、今日的な観点からは必ずしも合理的な方策とはいえない点もあるかも知れない。よってこの動画で行われている看護や治療を安易に模倣することはつしまなければならない。また授業では、本動画を参考にすべき対処例として利用しているわけではない。

1.3 新型肺炎白書

もう一つの資料は、国務院新聞弁公室による新型肺炎に関する白書《抗击新冠肺炎疫情的中国行动》¹¹⁾(『白書』と略称)といった書面語資料である。これは新型コロナウイルスにかかわる中国政府の対策を総括した文書であるが、後述するようにここでも多くのメタファーが使われている。動画で使われている口語的表現に加え、書面語においてどのような語彙や表現、そしてメタファーが使われているかを知るためのコーパスとする。

1.4 Covid-19の告知文

Covid-19の告知文に関する資料は、中国で実際に使われていた感染予防防止のための《温馨提示》である。これは2020年1月～3月にかけて日本からアクセスした中国のネットで閲覧可能であったものである。しかし2020年11月時点の中国においては、すでに削除されているものも多く、本稿の

11) 新华社北京6月7日电 国务院新闻办公室7日发布《抗击新冠肺炎疫情的中国行动》白皮书 http://www.gov.cn/zhengce/2020-06/07/content_5517737.htm 閲覧日2020年7月31日

中华人民共和国国务院新闻办公室 <http://www.scio.gov.cn/zfbps/ndhf/42312/Document/1682143/1682143.htm> 閲覧日2020年7月31日

読者が根拠資料を参照できない可能性もある。

Covid-19の告知文にはいくつかの種類がある。字数が多い順に列挙すると、以下の4種がある。

- a. 公文書の体裁に近い文章
- b. 注意事項の箇条書き
- c. リズムをもたせたお知らせ
- d. 注意を一言で表現したもの

a. の公文書の体裁のものや b. の箇条書きの告知文は、社区や建物の掲示板にA4用紙1枚におさまる長さが一般的である。これは掲示板という物理的制約に起因するものもあると思われる。d. において短いものは3文字、4文字で示される¹²⁾。本稿で採り上げるのは、c. のリズムを意識した告知文である。

リズムをもたせた告知文は、標語“标语”やスローガン“口号”に近いリズムがある。以下、告知文は(1)から通し番号で示す。

2. 比喩表現

2.1 動画における比喩表現

新型コロナウイルスに関わる事柄を語る時、多くのメタファーが使われている。これは決して文学的・詩的な表現ではなく、抽象的な事柄を認知し、理解するための言語的手段である。では、動画においてはどのようなメタファーが使われているかみてみよう。

- (1) 抗击肺炎
(肺炎に抵抗して反撃する)
- (2) 看不见的敌人
(見えない敵)

12) “禁烟”“闲人免进”といったものがもっとも短い告知文に属する。

- (3) 没有硝烟的战斗
(硝煙のない戦い)
 - (4) 战胜危机
(勝利の危機)
 - (5) 每次全副武装进入她的房间
(毎回、完全武装¹³⁾で彼女の部屋に入る)
 - (6) 补充营养, 希望她有充沛的体力去打败病毒
(栄養を補えば、彼女にみなぎった体力がウイルスを打ち負かす)
 - (7) 人类有抑制, 战胜这次疫情所需的一切
(人類が抑制すれば、今回の疫病に必要とされる一切に勝つことができる)
 - (8) 我们非常清楚对手是谁, 我们有打败它的技术手段:
(我々には対戦相手が誰かはっきりしている。我々はそれを打ち負かす技術と手段をもっている。)
 - (9) 新冠病毒疫情给世界提出了许多挑战
(新型ウイルスの疫病が世界に多くの挑戦をしかけている)
 - (10) 我感觉胜利的曙光就在前面了。
(私は勝利の光が目の前にきていることを感じる。)
- (1)~(10)の下線を施した箇所にもるように「戦争」や「戦い」に関わる表現が使われている。

2.2 『白書』における比喩表現

ここでは書面語を反映する政府の『白書』においてどのようなメタファーが使われているかを確認する。

- (11) 这是一场全人类与病毒的战争。
(これは全人類とウイルスとの戦争である。)
- (12) 面对前所未知、突如其来、来势汹汹的疫情天灾, 中国果断打响疫情

13) 「完全武装」は、マスク、防護服、帽子、手袋、ゴーグルなどで全身を覆うことを指す。

防控阻击战。

(前代未聞の、突然発生し、凄まじい勢いの疫病の天災に直面し、中国は果敢に疫病の防衛阻止戦の火ぶたを切った。)

- (13) 14亿中国人民坚韧奉献、团结协作，构筑起同心战疫的坚固防线，彰显了人民的伟大力量。

(14億の中国人民が粘り強く貢献し、一致団結し、心をともして病に勝つための強固な防衛戦を築き、人民の偉大な力をはっきりと示した。)

- (14) 中国始终秉持人类命运共同体理念，肩负大国担当，同其他国家并肩作战、共克时艰。

(中国は常に人類運命共同体の理念をもち、大国の任務を担い、他国と肩を並べて戦い、ともに厳しい情勢に打ち克った。)

- (15) 中国坚信，国际社会同舟共济¹⁴⁾、守望相助，就一定能够战胜疫情，走出人类历史上这段艰难时刻，迎来人类发展更加美好的明天。

(中国は国際社会が「同舟共済」「守望相助」(近隣の村落が共同で警戒警備に当たり協力しあう)することで、疫病の戦いに勝利し、人類の歴史におけるこの困難な時期から歩みだし、人類の発展に美しい明日を迎えることができると確信していた。)

- (16) 在中国共产党领导下，全国上下贯彻“坚定信心、同舟共济、科学防治、精准施策”总要求，打响抗击疫情的人民战争、总体战、阻击战。

(中国共産党の主導のもと、全国各地で“坚定信心、同舟共济、科学防治、精准施策”の全ての要求を貫徹させ、疫病に反撃する人民戦争、総力戦、防御戦に勝利した。)

- (17) 中国采取阻断病毒传播的关键一招，坚决果断关闭离汉离鄂通道，武汉保卫战、湖北保卫战全面打响。

(中国はウイルス伝播を遮断する鍵となる施策をとり、果敢に武漢や湖北から通じる道を遮断し、武漢防衛戦、湖北防衛戦は全面的に勝利

14) 『孫子』九地篇。

を収めた。)

- (18) 2月2日开始，在中央指导组指导下，武汉市部署实施确诊患者、疑似患者、发热患者、确诊患者的密切接触者“四类人员”分类集中管理，按照应收尽收、应治尽治、应检尽检、应隔尽隔“四应”要求，持续开展拉网排查、集中收治、清底排查三场攻坚战。

(2月2日より、中央指導グループの指導のもと、武漢市の各部署は確定患者、疑似患者、発熱患者、確定患者の濃厚接触者の「4タイプ」の分類を集中的に管理し、“应收尽收”(受け入れるべきは全て受け入れ)、“应治尽治”(治療すべきは全て治療)、“应检尽检”(検査すべきは全て検査)、“应隔尽隔”(隔離すべきは全て隔離する)「4応」要求に従い、網を張って調査し、集中して収容して治療し、徹底的に厳重チェックして3つの攻略戦を実施する。)

- (19) 2月10日，中共中央总书记、国家主席、中央军委主席习近平在北京调研指导新冠肺炎疫情防控工作，并通过视频连线武汉市收治新冠肺炎患者的金银潭医院、协和医院、火神山医院，强调要以更坚定的信心、更顽强的意志、更果断的措施，紧紧依靠人民群众，坚决打赢疫情防控的人民战争、总体战、阻击战；指出湖北和武汉是疫情防控的重中之重，是打赢疫情防控阻击战的决胜之地，武汉胜则湖北胜，湖北胜则全国胜，要打好武汉保卫战、湖北保卫战；

(2月10日、習近平中国共産党中央総書記、国家主席、中央軍事委員主席が…断固として疫病の防止と抑制の人民戦争、総力戦、狙撃戦に打ち勝ち、また湖北と武漢が疫病の防止と抑制で重要中の重要な場所であり、疫病の防止と抑制の狙撃戦に打ち勝つ決戦の地であり、武漢で勝てば、湖北も勝ち、湖北も勝てば、全国で勝つと指摘し、武漢防衛戦、湖北防衛戦を打つ必要が…)

- (20) 中央指导组指导湖北省、武汉市加强防控工作，以争分夺秒的战时状态开展工作，有力控制了疫情流行，守住了第一道防线。

(中央指導グループは湖北省、武漢市を指導して予防・抑制作業を強化し、一分一秒を争う戦時状態において展開した施策で、疫病の流行

を強力にコントロールし、第一の防御ラインを守った。)

- (21) 科学技术是人类同疾病较量的锐利武器，人类战胜大灾大疫离不开科学发展和技术创新。

(科学技術は人類が疾病とわたりあう鋭利な武器であり、人類が大災難や疫病に勝利するには科学の発展と技術の開発と切り離すことができない。)

- (22) 团合作是国际社会战胜疫情最有力武器。

(団結して協力することは国際社会が疫病に打ち勝つもっとも有力な武器となる。)

- (23) 14亿中国人民，不分男女老幼，不论岗位分工，都自觉投入抗击疫情的人民战争，坚韧团结，和衷共济，凝聚起抗击疫情的磅礴力量。14亿中国人民都是抗击疫情的伟大战士。

(14億の中国人民は、老若男女問わず、仕事や役職を問わず、疫病を迎え撃つ人民戦争に自発的に参加し、強く団結し、心を合わせて助け合い、疫病を迎え撃つ激しい力を集めた。14億の中国人民はみな疫病を迎え撃つ偉大な戦士である。)

- (24) 医务工作者白衣执甲、逆行出征。

(医療従事者は白衣の鎧で、「逆行して(困難に向かって)」出征した。)

『白書』における如上の表現は、読み手をして一種の「戦記」を読むような錯覚を抱かせる。それほどまでに戦争の比喩が多用されている。

2.3 比喩のまとめ

レイコフ・ジョンソン(1986)は、ARGUMENT IS WAR(議論は戦争である)という概念メタファーを提示し、メタファー構造の一例を示した。上記のCovid-19の表現に関する用例をまとめるなら、〈防疫は戦争〉という概念メタファーが導かれる。防疫と戦争の間には複数の共通項があり、戦争の特性を防疫に投射している。つまり防疫という抽象的な事象を戦争という具

体的な事象をもって表現している。

新型コロナウイルスの防疫については、〈起点領域〉から〈目標領域〉に向けての写像関係がある。そして、〈防疫は戦争〉という Covid-19に関連する比喩表現の構造をより細分化するなら、〈治療は戦い〉〈ウイルスは敵〉という写像関係を見いだすことができる。

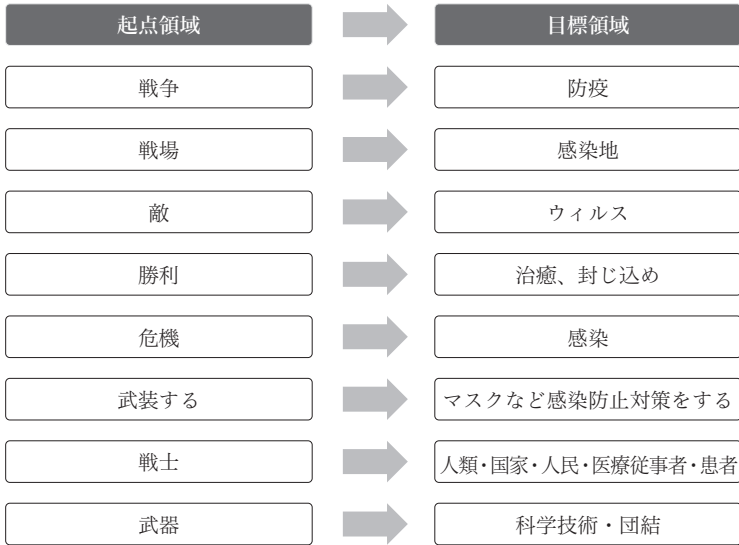


図1 〈防疫は戦争〉のメタファー写像

こうした中国語のメタファーは、些か大仰に映るかも知れないが、こうした表現は必ずしも中国語に限ったことではない。例えば、フランスのエマニュエル・マクロン大統領は、2020年3月16日の演説¹⁵⁾において、*Nous sommes en guerre*（我々は戦争状態にある）というフランス語の文句を6度も繰り返し、さらに *ennemi invisible*（見えない敵）、*bataille*（戦闘）、*front*（前線）、*couvre-feu*（消灯の合図→夜間外出令）、*tranchées*（塹壕戦）などと

15) Adresse aux Français, 16 mars 2020 <https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/03/16/adresse-aux-francais-covid19>（閲覧日2020年7月31日）

いった戦争に関する用語を使い、Covid-19対策への注意を促している。例えば、tranchéesは第一次世界大戦における西部戦線を語る上での象徴的な存在であり、これはフランス語の映画においてもたびたび描かれている¹⁶⁾。一方、日本のメディアにおいても、戦争の比喩はよく使われており、これは〈防疫は戦争〉というメタファーが言語の壁を超えた普遍性をもつ表現であると言えよう¹⁷⁾。

しかし、メタファーの使用には例外もある。例えば「神戸市新型コロナウイルス感染症対策 第1次対応検証結果報告書」といったCovid-19の行政における対応を記したA4で257ページにも及ぶ文書であるが、「戦争のメタファー」に類する表現はほとんど使われていない。強いて挙げれば「総動員体制」「後方支援」といった言葉がそれに相当するが、それでも「戦争」の意味合いは薄く、日本の公的文書においてメタファー使用が抑制されている一例と言えよう。

3. 中国語のプロソディと告知文のリズム

プロソディ (prosody・韻律) とは、言語を話し、聴くための、「音の上げ下げ・区切る位置・長さや強弱」など、言語音の特徴を表す総称である。中国語にもリズム、イントネーション、ストレス、ポーズなどプロソディがあることは言うまでもないが、初級の中国語のテキストには往々にしてプロソディに関する説明はない。しかし、中国語の意味を踏まえて間をとり、強弱・長短をつけてリズムをとることは中国語理解の助けになることは言を俟

16) フランス映画においては、Jean-Pierre Jeunet (2004) *Un long dimanche de fiançailles*, Christian Carion (2005) *Joyeux Noël* などがあるほか、フランス以外の映画を含めると William Boyd (1999) *The Trench*, Sam Mendes (2019) *1917*, Peter Jackson (2018) *They Shall Not Grow Old* など枚挙に暇がない。

17) 高橋史弥 (2020) 参照。当該記事においては防疫を戦争で喩えることへの批判に言及しているが、言語学的には概念メタファーは「犠牲を正当化する」といった意図のもとで使われているとはみなさない。

たない¹⁸⁾。

非母語話者が中国語のプロソディを身につけるオーソドックスな方策は文章の朗読や、シャドーイングである。またその他の方法として、これまで小川快之（2010）などにより中国語の歌などの利用が提唱されている。ただ、当該論文で指摘されているように声調の乱れへのケアも必要であり、また個人の音域の違いによるピッチ統一、さらには歌を歌うこと自体へのハードルの高さなどから、講義での歌唱によるプロソディ習得は些か迂遠な方策であると言えるかも知れない¹⁹⁾。

その一方で、中国語の告知文のなかには、リズムを意識して作られたものが多く、いわゆる「中国語らしいリズム」を体感することができる。よって本稿においては中国語の告知文の利用は、学習者の中国語プロソディへの理解に資するレアリアの一つとなりうると考える。

呉为善（2006: 2）、重松淳（2007）は、フットの構成モデルとして以下を提示している（○は1音節、／はフットの切れ目、□はポーズを示す）。

2 音節区切り：○○

3 音節区切り：○○○

4 音節区切り：○○／○○

5 音節区切り：○○／○○○

6 音節区切り：○○□○○／○○

7 音節区切り：○○／○○□○○○

しかし、コロナウイルス関連の告知文は、5音節、6音節はほとんど観られず、基本的に3音節、4音節、7音節を基本とする。以下に音節単位で実

18) 中国語のプロソディは大きく分けて2つあり、1つはポーズ、もう一つは強弱である。ポーズは“逗号”（,）、“顿号”（、）、“句号”（。）には間を入れ、実詞は強く、虚詞は軽く、はやく発音するのが基本である。また、中国語のくぎり符号“标点符号”には中国語のプロソディを反映する、あるいは読音時のプロソディを示す機能がある。これについては石崎博志（2021）を参照。

19) Covid-19の感染予防という観点からも、今後は教室での歌唱は難しくなる可能性がある。また教授者が歌唱を好む場合、自己投影バイアスがかかりやすく、受講生も歌唱を好むと考えがちになる。

例を挙げる。

3.1 3音節区切り

ここでは3音節を基本単位とする告知文を列挙する。

- ・打喷嚏 捂口鼻
- ・吃熟食 少熬夜 看医生 勤洗手
- ・勤锻炼 戴口罩 多喝水 勤开窗 量体温 勤洗手

また以下は6音節単位に見えるが、上記のフットの構成モデルの6音節とは異なり、意味の区切りは3音節単位の文句を2つ重ねているため、3音節単位といえる。

- ・需警惕不轻视 少出门少聚集 勤洗手勤通风 戴口罩讲卫生
打喷嚏捂口鼻 喷嚏后慎揉眼 有症状早就医 不恐慌不传谣
防控疫情我们在疫情

ここでリズムをもたせるために意識的に行っているのは、以下の方法である。

- 少A少B (Aを控えて、Bを控える)：少出门少聚集
- 勤A勤B (Aをしつつ、Bをする)：勤洗手勤通风
- 不A不B (Aをせず、Bもせず)：不恐慌不传谣

また類似音を意識したと思しきものもある。

- 需A不B (Aが必要でBせず)：需警惕不轻视
- 有A早B (Aがあったら早めにBする)：有症状早就医

上の例においては、“警惕”(警戒する)と“轻视”(軽視する)が類似音として意識されている。また、有A早Bにおいては、“有”と“早”が第3声であることと you [iou] と zao [tsao] のように韻尾にいずれも [o] を使うことが指摘できる。

3.2 4音節区切り

4音節区切りは、基本的に2音節単語+2音節単語から構成される。以下に全体が短い順に並べると以下のようなになる。

- ・错峰就餐

- ・未戴口罩 禁止入内
- ・关注体温 佩戴口罩 仔细洗手 及时就医
- ・测量体温 谢谢合作
- 特殊时期 注意防护
- 疫情当前 请勿串门
- 感冒发烧 及时就医
- ・ 1 经常洗手 2 多带口罩 3 远离人群 4 开窗通风
5 不碰野味 6 煮熟食物 7 及时就医 8 不要恐慌

3.3 7音節区切り

7音節区切りは基本的に4音節+3音節の組み合わせからなり、フットの構成モデルに合致している。

【办公、后勤 五注意】

人人之间保距离
自我防护要做好
日常工具勤消毒
后勤人员场巡检
发现可以早报告

【药哇温馨提示】

对疫情，别麻痹
预防传染做仔细
发现患者即隔离
通风消毒餐用具
人受感染早就医
公共场所要少去

【勤快洗手常消毒】

勤洗手 勤消毒 疫情防护要做好 不给病毒留机会

3.4 7音節区切り

以下は全体として7音節区切りを含むものであるが、7音節の表現は最後に用いられることが共通している。そして、その前の要素は3音節区切りの連続で構成されており、4音節区切りは管見の限りみられない。

以下に引用するのは3+3+7、3+3+7、3+3+7（合計39字）の組み合わせで、3+3+7の組み合わせは、日本の3 3 7拍子に似るが、リズム自体は中国語の方がゆっくりしていると思われる。

・戴口罩，不交流，出了电梯要洗手。

按按钮，用纸巾，避免用手揉眼睛。

低楼层，楼梯走，尽量不要摸扶手。

以下も3音節と7音節の組み合わせであるが、3+3+3+3、7+7（合計26字）の組み合わせからなる。

・少出门！不聚集！勤洗手！多通风！

出门一定戴口罩！发热咳嗽早报告！

こうしたリズムをもった注意を一日の行動に合わせて作られたものがあり、やはり3+7のリズムで作られている。

このように、中国ではリズムを意識した感染予防の告知を容易に探し出すことができるが、ここには長年にわたって繰り返されたプロパガンダの土壌があるものと思われる。これは日本における感染予防の呼びかけとは大きく異なる要素といえよう。

また7音節に関連して、中国においては“七步洗手法”と呼ばれる手洗い方法が広く宣伝された²⁰⁾。これは手洗いを7つのステップに分け、重点的に

20) 7つのステップの具体的な内容や、ステップ数については出入りがある。例えば、WHO（世界保健機関）では11のステップで手を濡らすことから、蛇口を拭き、手がきれいになることまで含み、一方CDC（アメリカ疾病予防管理センター）は5ステップを設ける。

1. Wet your hands with clean, running water (warm or cold), turn off the tap, and apply soap.
2. Lather your hands by rubbing them together with the soap. Lather the backs of your hands, between your fingers, and under your nails.
3. Scrub your hands for at least 20 seconds. Need a timer? Hum the “Happy Birthday” song

揉み込む部位を“内、外、夾、弓、大、立、腕”と命名している。こうした各ステップを漢字1字で表現するところが中国語ならではの特徵と言えよう。これは医療従事者による手洗い方法であったが、学校教育やメディアを通じて広く一般人にも広がることになった。

おわりに

日本と中国ではネット環境が大きく異なるが、その顕著な違いは今回使用した中国で作られた動画が、常に日本で視聴し続けられるという保証がないことである。これは告知文に関しても同様のことがいえる。そのためシラバス作成時に存在した動画が、授業時に視聴できない、あるいは告知文の掲出が終了しているという可能性は排除できない。そして根拠資料へのアクセスを保証できないという事態は、本稿の論文としての適格性に疑義を生じさせるものと言わざるを得ない。

しかし、本稿で敢えてこうした資料を用いたのにはいくつかの理由がある。それは、Covid-19に関連して新たに発生した言語現象を記録し、記述する必要性を筆者が感じたからである。また Covid-19が蔓延している状況にあって、日本において中国語話者に対する疫病関連の情報提供に問題のある

from beginning to end twice.

4. Rinse your hands well under clean, running water.

5. Dry your hands using a clean towel or air dry them.

そして中国では多少の出入りがあるが、概ね以下の方法が推奨されている。

第一步（内）：洗手掌，流水湿润双手，涂抹洗手液（或肥皂），掌心相对，手指并拢相互揉搓；

第二步（外）：洗背侧指缝，手心对手背沿指缝相互揉搓，双手交换进行；

第三步（夹）：洗掌侧指缝，掌心相对，双手交叉沿指缝相互揉搓；

第四步（弓）：洗指背，弯曲各手指关节，半握拳把指背放在另一手掌心旋转揉搓，双手交换进行；

第五步（大）：洗拇指，一手握另一手大拇指旋转揉搓，双手交换进行；

第六步（立）：洗指尖，弯曲各手指关节，把指尖合拢在另一手掌心旋转揉搓，双手交换进行；

第七步（腕）：洗手腕、手臂，揉搓手腕、手臂，双手交换进行。

ものが少なからず存在したことも大きな動機となっている。つまり、日本の自治体が公表する感染対策に関連した文書には、中国語母語話者による翻訳チェックを経ていないものや、日本語文書を無料サービスの機械翻訳にかけたものをそのまま掲出しているだけのものも存在したからである。当然ながら Covid-19 は、国籍や言語歴とは関わりなく感染リスクがある。日中間の機械翻訳の精度が現状のままであり、それを無批判に使うことは、いわば「翻訳汚染」とも言うべき事態を招きかねない。

今回は取り扱わなかったが、こうした動画の中国語字幕を日本語字幕に置き換える時、字幕として表示可能な日本語の字数制限の問題が浮上する。また中国には存在しているが、日本には存在しない事象を各種の制限のなかでどう翻訳するかという問題もある。こうした翻訳によって抜け落ちる中国の文化的要素については、稿を改めて考察したい。

付記：日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「中国語教育のためのレアリア・文化語彙理解の基礎的研究」(研究代表者：中西千香，期間：2020年度～2024年度，課題番号：20K00873)。本稿はこの研究成果である。

参考文献

- 安西弥生 (2019) 「日英字幕の視聴パターンによる学習者の「オープン」の認識への影響」『教育研究』61, pp. 1-9.
- 石崎博志 (2021) 「現代中国語におけるくぎり符号“標点符号”について レアリアによる中国語教育の一環として(3)」『佛教大学文学部論集』105, pp. 1-26.
- 岩居弘樹 (2014) 「iPadを活用した学生によるビデオ作成」『中国語教育』12, pp. 38-45.
- 植村麻紀子 (2018) 「中国語授業における ICT 活用事例」『言語メディア教育研究センター年報』2017, pp. 47-59.
- 小川快之 (2010) 「中国語授業における歌の活用の有効性について」『言語文化論叢』4, pp. 87-92.
- 許挺傑 (2019) 「初級中国語教育における YouTube 動画導入に関する学生の利用実態と意識調査—授業内容をまとめた教員自作動画の視聴を中心に—」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』57, pp. 69-84.
- 清原文代 (2015) 「これからの中国語教材」『中国語教育』13, pp. 58-74.
- 神戸市 (2020) 「神戸市新型コロナウイルス感染症対策第 1 次対応検証結果報告書」
<https://www.city.kobe.lg.jp/a95474/kenshou.html>

- 佐藤弘明 (2018) 「TED Talks の英日字幕データを利用した語彙リストの作成」『専修大学
外国語教育論集』43, pp. 39-56.
- 重松淳 (2007) 「中国語イントネーション研究の現状」『言語研究』11(2), pp. 5-15.
- 高橋史弥 (2020) 「“ウイルスとの戦争” 表現はやめて。「弱い人の犠牲、承服しかね
る」新型コロナ専門家有志の会が呼びかけ」[https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_](https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5ea13673c5b699978a3365a0)
[jp_5ea13673c5b699978a3365a0](https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp_5ea13673c5b699978a3365a0) 閲覧日2020年7月31日
- 田淵龍二・湯舟英一 (2017) 「Ted talks 字幕の表示時間の特徴とその教育的利用に向けた
考察」*Language Education & Technology*, 54, pp. 167-192.
- 中釜達朗・市川隼人・保科貴亮 (2015) 「TED トークを教材としたルーブリック評価によ
る日本語プレゼンテーション教育」『工学教育』63(2), pp. 73-78.
- 紅粉芳恵 (2015) 「CaptionTube を使った字幕作成と授業デザイナーインタビュー動画を利用
して一」『関西大学外国語教育フォーラム』14, pp. 61-75.
- 文部科学省 (2016) 「教育課程部会 外国語ワーキンググループにおける審議の取りまとめ
について_1」[https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfi](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/09/12/1377057_1_1.pdf)
[le/2016/09/12/1377057_1_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/09/12/1377057_1_1.pdf) 閲覧日2020年8月25日
- G. レイコフ・M. ジョンソン (1986) 『レトリックと人生』東京：大修館書店。(原著
Lakoff, G and Johnson, M (1980) *Metaphors We Live By*. University of Chicago Press)
- Le Figaro (2020) “Macron déclare la « guerre » au coronavirus” *Le Figaro* [https://www.lefigaro.fr/](https://www.lefigaro.fr/politique/macron-declare-la-guerre-au-coronavirus-20200316)
[politique/macron-declare-la-guerre-au-coronavirus-20200316](https://www.lefigaro.fr/politique/macron-declare-la-guerre-au-coronavirus-20200316) 閲覧日2020年7月31日
- Jeong, K. O. (2016) “Integrating a web-based platform to promote creativity and authenticity in
language classrooms,” *International Journal of Knowledge and Learning*, 11, 2-3, pp. 127-136.
- Zhou, Peng et al. (2020) “A pneumonia outbreak associated with a new coronavirus of probable bat
origin,” *Nature*, 579, pp. 270-273.
- 二更 website <https://www.ergengtv.com/home/aboutus/>
- 吴为善 (2006) 《汉语韵律句法探索》上海：学林出版社。
- TED×Taipei・認識台灣，看見世界。 <http://tedxtaipei.com/>

石崎博志 ISHIZAKI Hiroshi 佛教大学准教授 専門：中国語学